

第1回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会での主な意見とその対応について

○各学校区別の現状などについて

(1) 上大津西小

区分	主な意見等	回答・対応
学校	・複式学級の担任は1人だが、授業の仕方については、教頭や教務主任等が入るなど、工夫をして対応している。	・今後も様々な観点からご意見をいただき、総合的に一つの方向性を導き出していきたいと思いますので、よろしくお願いします。
保護者	・学校の役員が毎年回ってきており、親の負担が非常に大きい。 ・高学年の児童が低学年の児童の面倒をみくれるなど、縦の繋がりが強い。 ・児童数が少ないことにより、仲が悪い子が出来てしまった際にその子が孤立するといったことが実際に起こった。子ども達の逃げ道の確保のためにも、早急に児童数を増やす対応をしてほしい。	
地域	・地域としては、上西小がなくなることは理解している。	
その他	・統合案などを早く出してもらって、統合などをした後のことをもっと検討した方がいい。案は第三者に出してもらいたい。	

(2) 上大津東小

区分	主な意見等	回答・対応
学校	・新入学児童が年々増加すると予測されているが、空き教室が少なく、グラウンドも手狭で建て増しが難しい。早めに手を打つ必要がある。	・(1) 上大津西小の回答・対応に同じ。
保護者	・田村町と沖宿町も人口が減っており、地区の役員が毎年回ってくる状況である。	
地域	・おおつ野地区は土地の空き地がまだたくさんあり、今後も人口が増えると考えられる。 ・おおつ野地区の自治会が大所帯となっているため、5～8丁目の自治会を2つ（5、6丁目と7、8丁目）に分けることを検討している。	
その他	・個人的な意見ではあるが、学校については、おおつ野5、6丁目を上東小へ、7、8丁目をスクールバスで上西小へ行かせてはどうかと考えている。	

(3) 神立小

区分	主な意見等	回答・対応
学校	・保護者は、上大津地区の適正配置については一歩下がり、別であるといった意識が強いと感じる。	・(1) 上大津西小の回答・対応に同じ。
保護者	・外国籍の児童が多いため、教育的にはグローバルでいいが、役員等については今後検討が必要である。 ・神立小地区は各地域でのまとまりが非常に強いと感じる。適正配置を進める上でも、このまとまりは維持してほしい。	

(4) 菅谷小

区分	主な意見等	回答・対応
学校	・菅谷小は学校施設が整っているため、児童数の増加した場合にも対応できる。	・(1) 上大津西小の回答・対応に同じ。
地域	・菅谷小は市内の学校の中で一番環境がいいと思う。 ・児童数が減っており、白鳥町の育成会は来年解散せざるをえない状況である。	
その他	・個人的な意見ではあるが、神立小を除いた3校で統合し、五中の近くに小中一貫校を新設することもある。ただし、これは大変時間を要するため、まず上西小の児童を菅谷小へ行かせ、その後、上東小と統合させるなど、2段階で考えた方がよい。	

(5) 五中

区分	主な意見等	回答・対応
学校	・現状1クラス30～35人で手狭であり、今後生徒数が増加した場合、教室数不足になる恐れがある。	・(1) 上大津西小の回答・対応に同じ。
保護者	・五中では、各小学校区の特徴はあるが、まとまりのあるPTA活動を行っている。	
その他	・やっと、上大津の適正配置が始まるのかという気持ちである。 ・来年度から始まる小中一貫教育とも連携を図っていく必要がある。	